

令和7年度 外国学校経験者特別入試 第1種（1月募集）

筑波大学 人間学群 心理学類

「小論文」問題

試験実施日 令和7年2月25日

実施時間 10:00～11:30

〔解答上の注意〕

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子1部、解答用紙2枚、下書き用紙2枚が配付されていることを確認しなさい。
問題冊子は表紙を含めて5ページまであります。不備があるときは手を挙げて監督者に知らせなさい。
3. 解答には指定された解答用紙をそれぞれ使用しなさい。
4. 下書き用紙に記入された内容は採点の対象とはなりません。解答する際に十分注意しなさい。
5. 試験開始前に、2枚の解答用紙の所定の欄に、氏名と受験番号を忘れずに記入しなさい。その際に、問題冊子を開いてはいけません。
6. 質問のある場合や、気分の悪くなった場合には、手を挙げなさい。

〔解答用紙回収時の注意〕

1. 終了の合図があったら直ちに筆記用具を置きなさい。監督者の指示に従わない場合は不正行為とみなします。
2. 2枚の解答用紙を問題番号順に重ねなさい。重ねたまま回収します。
3. 問題冊子と下書き用紙は回収しません。持ち帰りなさい。

令和 7 年度外国学校経験者特別入試第 1 種（1 月募集）

筑波大学 人間学群 心理学類

「小論文」問題 1（英語）

以下の英文を読んで、次の問 1 と問 2 に日本語で答えなさい。なお、マス目のある解答欄に英数字を書く場合には、1 マスに 2 文字を記入すること。

- 問 1 思春期や青年期に聴いた音楽と、それ以降で聴いた音楽ではどちらがノスタルジアを生じさせやすいかについて、本文に書かれている内容を踏まえて、150 字以内で説明しなさい。
- 問 2 心の健康を保つためにノスタルジアという感情をどのように活用できそうか、ストレス対処以外の観点で、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

令和 7 年度外国学校経験者特別入試第 1 種 (1 月募集)
筑波大学 人間学群 心理学類
「小論文」問題 2 (日本語)

以下の文章を読んで、次の問 1 と問 2 に日本語で答えなさい。

- 問 1 下線部について、なぜそのようになるか理由を 100 字以内で説明しなさい。
- 問 2 「年齢の近い兄弟とは、学校での得意な科目 (領域) が異なり、年齢が離れた兄弟ではそのようなことが認められないという調査結果が得られている。」
上記の調査結果について、考えられる原因を本文の内容に即して、250 字以内で説明しなさい。

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

出典：池田謙一・唐沢穰・工藤恵理子・村本由紀子（2010）．社会心理学 有斐閣 94～95
ページから抜粋・改変